



2016年度 大分大学福祉科学研究センター講演会

「社会的孤立の問題に対応する 社会福祉協議会の挑戦」

【日 時】2016年12月12日(月)14:50～16:20(14:20 開場)

【場 所】大分大学旦野原キャンパス 第2大講義室

【講 師】うきは市社会福祉協議会

相談支援係主査 國武 竜一 氏

<略歴>

1971年 福岡県うきは市生まれ

1996年 福岡大学大学院体育学研究科 修了

1997年 うきは市社会福祉協議会 入社

近年、わが国では高齢者の単身世帯のみならず、稼働年齢層や複数人からなる世帯でも孤立死が発生しています。こうした社会的孤立の対象の拡大を受け、支援者が自ら対象者のところに向いて支援をする「アウトリーチ」の重要性が指摘されるようになりました。しかし、社会的孤立に陥っている人の中には社会との関わりを拒否するような人もおり、支援者がいくらアプローチをしても関係性を築くことが難しい場合も少なくありません。

このような状況のなか、うきは市社会福祉協議会の國武竜一氏は、単に訪問を繰り返すだけでなく、さまざまな工夫をして社会的孤立に陥っている人とつながってきました。こうして対象者と関係を築いた際、既存の社会資源では対応が難しい場合は、新しい社会資源を開発してきました。ひきこもりの方を対象に居場所と仕事を提供する場をつくる活動は、その好例といえます。地域内では解決が難しい場合は、積極的に市外の社会資源とつながってこれを活用するなど、「地域」の枠にとらわれずに活動を展開していることも、これまでの地域福祉にはあまりみられない独自の実践といえます。

今回の講演では、こうした実践の内容や、それが生み出された背景を詳しくご紹介いただきます。さらに、今後どのような実践を展開していきたいのか、そのためには何が必要なのかなど、地域福祉の「未来」についてもお話しいたします。

【対象者】 約100名 福祉関係者、学生、教員、一般市民

【参加費】 無料(ただし、12月10日までに申し込みが必要)

【主 催】 大分大学福祉科学研究センター

【申し込み/問合せ先】

大分大学福祉科学研究センター
〒870-1192

大分市大字旦野原700番地

TEL/FAX:097-554-7450

E-mail: fukusi@iota-u.ac.jp